

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社一休庵	代表者	施設長 長濱 清通	法人・事業所の特徴	<p>私たちは家庭の雰囲気を大切にしたい優しいふれあいホームを目指しています。ご利用者お一人おひとりの「尊厳を保持」し、もてる能力に応じて「自立した日常生活」を送ることができるよう、パーソナルプランによる充実したアクティビティサービス（機能訓練や脳リハビリ）の向上や、栄養管理に基づく食事の提供を行っています。そして本業の通い、訪問、泊まりのサービス内容をその利用者、ご家族の要望など十分取り入れたプランに心掛けています。</p> <p>さらに、ご利用者の主治医に密に連携を図り、お一人おひとりの健康管理に努め、緊急時の適切な対応に努めています。</p>
事業所名	一休庵小規模多機能型居宅介護	管理者	小池 利恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	8人	人	人	2人	人	5人	人	17人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ一丸となって、日々の業務、感染予防の取り組み結果について、委員皆様へ報告を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年末年始にコロナの感染がみられたが、今後も感染予防に努めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からスタッフ全員参加で夜の時間帯でありながら評価についての意義がよく理解され真摯に取り組まれた事が判ります。また、総合的に一休庵の中では全員が連携しながら利用者の支援にあたっておられますが、対外的にはコロナの影響もあり地域内での活動や家族間でのコミュニケーション不足にはもう少し時間がかかると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間でのコミュニケーションをはかり、コロナ対策の継続など、情報共有に努める。 ・ご利用者のニーズの把握に努める。 ・地域間における活動参加に努める。 ・ケアワーカーの担当制を理解し、実行する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き各設備のメンテナンスの強化、清潔の保持に努める。 ・動線を考えた配置や心地よく感じる環境の工夫を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂のタイルの修繕など、メンテナンスの強化に継続して努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設に入ったことがないのでわからない。(委員の今年度初めての方) ・施設は、清潔になっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整理・整頓・清潔の保持に努める。 ・定期的なメンテナンスを行い、過ごしやすい環境維持を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・一休庵にてイベントを開催し、地域の方との関わりを持ち気軽に相談しやすい環境を作りたい。また、見学により、知ってもらう機会を増やしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一休庵でのクリスマス会、もちつきなど、地域の方との交流が少しずつできてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方で一部知らない人もいます。 ・地域に当施設があることをより広くPRする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催時は地域の方へお知らせし、気軽に相談しやすい場を提供していきたい。 ・家族会の開催を通じ地域との関係性を深め協力していく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナはまだまだ終息していませんが、そろそろご利用者と共に外出、地域の行事に参加したい。 ・各地域の集まりに積極的に参加し地域のつながりを持ちご利用者以外の方もサポートできるようにしたい。 	<p>地域の文化祭への出展、見学に行くことができご利用者の励みになった。</p> <p>地域の民生委員の方の集まりに参加させていただき、地域の状況を知る機会が持てた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、コロナ終息がなく5類になったものの前半は特にコロナの感染があり、介護施設全体が不安の日常が継続していた。後半になり、少しは感染が軽減されたものの地域への広がりまでは及ばなかった。 ・地域とコンタクトをより密にすればよいと思う。 ・各校下民生委員と連携して一休庵をよりPRできればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者と地域イベントに参加し、交流できる機会を増やしたい。 ・一休庵だよりの定期発行を続け地域に理解して貰い、地域でも高齢者を支えてもらえるよう努める。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通じて、地域への行事の参加を行っていききたい。 	<p>地域への行事の参加は、難しかった。今年度も引き続き参加していきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等を通じて事業所として関わりを持ちたいとの意欲は感じられたが、具体的な手法や取り組み結果（成果やできなかつ事例、失敗事例）などの報告が少ないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議での意見を傾聴し、改善につなげていきたい。 ・事前に地域の行事を教えてもらい、協力できるよう努めたい。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を行う時は、地域の方々へお知らせをする。 ・災害時の避難経路の確認をしておく。 ・災害時の備品の報告をする。 	<p>年2回の防災訓練を行い、避難経路の確認ができた。</p>	<p>防災訓練は実施されているが、今後も地域へのお知らせをお願いしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のマニュアルの確認、見直しをする。 ・ハザードマップなど資料を定期的に勉強し備える。